

北条会場での主な意見・要望・提言等

日時：平成31年2月16日（土）10時～11時30分

場所：北条ふるさと館2階 大会議室

【第1グループ】

①	河野地区の住民避難について、避難する人が極端に少ないのは、今後の課題。避難を促す放送（防災無線など）だけでは難しいので市としての対策も検討して欲しい。
②	避難所となる公民館に災害時の備蓄物資を格納するスペースがない。無理に格納するとスペースが狭くなって公民館として使えないので困る。
③	地域の防災訓練にその地域に在住する市職員が来ていないので参加して欲しい。【後日回答】 地域の防災訓練等には、その内容に応じて、消防署や危機管理課、福祉部門の職員などが参加していますが、一般の職員が地域の訓練へ参加することは、災害対応能力を向上させるためにも重要なことだと認識していますので、今後は、地区連合会単位での訓練について案内し参加を促すなど、参加職員の増加につながるよう、周知啓発に努めていきます。
④	土砂災害などを防ぐためのハード面での対策は考えていないのか（砂防ダムとか）。

【第2グループ】

①	堀江地区の大谷川に土砂が流れてきて川底が上がっており不安である。測量はしていたようだが、現在の工事の進捗はどのような状況なのか。
②	避難勧告について、河野地区は範囲が広いので、「山側の地域」、「海側の地域」など細分化した呼びかけがあればよいのではないかな。
③	災害後の（家屋1棟当たりの）廃棄物の撤去・処理費用について、一番安い事例で約500万円なのは高すぎるのではないかな。
④	市の予算について、余った場合はどのようにしているのか。また、決算などの情報を市民はどうすれば知ることができるのか。
⑤	ヘルプマークについての認知度が松山市は他市に比べて低いように感じる。公共交通機関にもヘルプマークの表示がないので、松山市でももっと周知してほしい。

【第3グループ】

①	避難勧告は一方的で、高齢の独居老人は一人で避難ができないので何とかして欲しい。
②	災害時の避難先の受け皿ができていない。また世帯別に具体的な避難に関する指示が必要。
③	河野地区は、海側、平地、山手があり、一度に避難勧告を出してもどこに避難したらよいかかわからない。【後日回答】
	本市では、地震や津波、水害や土砂災害等、災害の種類に応じて安全な避難所を開設することにしており、防災行政無線、登録制メール、緊急速報メール、スマホによる防災アプリ、防災情報SNSのほか、テレビやラジオでの広報など、複数の手段でお知らせしますので、開設されている避難所への避難をお願いいたします。
	また、災害時でも、慌てずスムーズに避難していただくよう、普段から地域内の避難場所や避難経路の状況等を確認しておいていただきますようお願いいたします。
	さらに、災害の種類や規模などによっては、避難所に指定している場所でも開設されない場合がありますので、市がお知らせする避難情報を確認してから行動していただくようお願いいたします。
④	40年前から河野川の右岸と左岸の高さに違いがあり、大雨の時は低い方が決壊しやすいので対策を講じて欲しい。
⑤	飲食店が排水する農業用水路から悪臭がする。数年前、市に相談したが地域で話し合ってくれと言われたので、市議会議員からも市に申し入れをして欲しい。

【第4グループ】

①	豪雨災害で被災した田畑・園地について、土砂撤去などの対応は土地所有者個人がしなければならないのか。市に言えば対応してくれるのか。
②	災害後、共済保険の手続きがわからなかった。市の農林水産課へ相談すれば良かったのか。
③	自宅が被災した場合の廃棄物の処理費用は、建物の所有者が負担しなければならないのか。
④	市議会議員の活動は、市民からすると敷居が高いイメージがある。
⑤	立岩川について、増水時の避難判断水位の基準がないが、今後設定する予定はないのか。

【第5グループ】

①	防災・減災については、子どもへの教育が重要であるので、学校教育の一環として取り入れて欲しい。
②	北条バイパス沿道（歩道）をマラソンや散歩に活用しているが、道が暗くて危ないので街灯を設置して欲しい。
③	地域・公民館単位での災害訓練を実施したいので、市としても応援して欲しい。
④	被災者が介護施設を利用したい場合の相談窓口を明確にして欲しい。
⑤	災害時のアナウンス（防災無線など）が聞き取りにくいので何とかして欲しい。
⑥	豪雨災害後の農業者への支援・復旧がどうなっているのかの情報が欲しい。
⑦	佐古地区の被災箇所への対応をお願いしているが、順番待ちでまだ手付かずのままである。